

JLA 加盟クラブ各位

日本ライフセービング協会
ライフセービング教育本部

【第二次募集】2025 年度 ジュニアライフセービング教室助成事業のご案内
～子ども達への水辺の安全教育プログラムの推進事業～

【概要】

学習指導要領改訂により水泳運動の領域に「安全確保につながる運動」が明記され、Water Safety 教育を取り入れる教育機関が増えつつある。このようにライフセービング教育の重要性が広く認識されながらも、全ての子どもたちがその機会を得られていない現状がある。それを改善するため、ライフセービング教育本部では「全てのライフセービングクラブでジュニアライフセービングプログラムの導入」を目標としている。

本事業では、その目標を達成する手立ての1つとして、今までジュニアライフセービングプログラムの実施を希望するものの、器材や指導ノウハウに課題を抱えるクラブに対し支援を行う。支援を行うことで、各地域における Water Safety 教育の強化と、次世代の健全な青少年の育成に貢献することをめざす。

本事業では、以下の3点を通じてジュニアライフセービング教育の質の向上を図ります。

1. 各クラブの実践を通じて、ジュニアライフセービングプログラムの体系的な実施と運営について共有を図る。
2. 教育本部委員が支援に入り、計画・実施をサポートし、状況を記録する。
3. 指導者アンケートと参加者アンケートを実施し、効果測定と課題抽出を行う。

実施目標: 全国 10 クラブでジュニアライフセービングプログラムを開催し、延べ 500 人の参加をめざす。

成果物: 各地域クラブによる e-Lifesaving 導入プログラムの実地調査報告書を作成する。

【申請区分】 二次募集として、次のように募集します。

1. Water Safety 教育支援型

- ・助成対象クラブ数：4 クラブ
- ・実施対象期間：支援器材到着後（目安：2025 年 7 月 1 日(火)～2025 年 9 月 30 日(火)）
- ・教育本部委員が指導のサポートをし、助成対象クラブは事前準備、指導、事後の対応をおこなうものとする。

2. 通年支援型

- ・助成対象クラブ数：3クラブ
- ・実施対象期間：助成決定通知後～2025年12月31日(水)
- ・事前、事後の対応、当日の指導は助成対象クラブがおこなう。

【申請条件】

1. 申請時に2025年度JLA加盟クラブであり、団体登録と登録費支払いが完了していること。
2. ジュニアライフセービングインストラクター、ジュニアライフセービングアシスタントインストラクター、リーダーのいずれかの資格を持つ指導員が指導する体制であること。該当者がいない場合は、プログラム実施前または実施後にリーダー講習会または、指導員養成講習会を受講すること。
3. プログラム事前・事後に当委員会が開催するヒアリングに参加できること。(助成決定通知後、日程調整)
4. 当該ジュニアライフセービングプログラムへの当委員会による実地調査を受け入れできること。(助成決定通知後、日程調整)
5. ジュニアライフセービングプログラムに関するアンケート調査(参加者・保護者・助成クラブ向け)に協力できること。
6. 過去3年2年以内に本事業助成を受けていないクラブであること。(第一次募集要項を見直し、2023年度、2024年度、本助成を受けていないクラブに変更)
7. プログラムの指導に当たる際は、原則2020年以降のJLA公式ユニフォームを着用すること。
8. 当委員会主催の報告会「ジュニアライフセービングクラブハウス(オンライン開催)」での発表に協力できること。(任意)

【器材支援内容】

	Water Safety 教育支援型	通年支援型
1)ライフジャケット	20着	20着
2)ジュニア用タンクラッシュガード	20枚	20枚
3)ジュニア用キャップ	20枚	20枚
4)津波フラッグ	1枚	1枚
5)ジュニアライフセービングかるた(A4)	1セット	1セット
6)掲出用ポップアップバナー	1セット	1セット
7)ジュニアライフセービングテキストブック	50部	50部
8)水辺の安全啓発用クリアファイル	50部	50部
9)水辺の安全啓発リーフレット	50部	50部
10)ニッパーボード	—	2本
11)ジュニア用フルウェットスーツ	—	20着

【企画必須内容】

1. 水辺において、ライフジャケットを活用したプログラムを実施し、子どもたちの命を守るための Water Safety の意識と技術を育成する。
2. Water Safety やライフセービングに関する子どもの理解度や発育発達段階に合わせた取り組みを体系化し、活動をより継続的なものにするため、JLA ジュニアライフセービングバッジテストを活用したプログラムの運営を企画する。
3. 海浜活動中の地震、津波、避難のフローを各地の防災マップに基づき、シミュレーション訓練等を実施する。避難の重要性や避難経路、避難場所までの道のりを体験から学ぶことで、防災に対する意識を高める。また、津波フラッグへの周知を図ることで、海浜活動への安全知識と実践的行動を理解する。
4. e-Lifesaving を事前学習、もしくは事後学習にて使用し、プログラム全体の学びの質の向上や、安全にプログラムを実施するために活用する。
5. 夏季以外の季節でもウェットスーツを着用して、水辺で活動する年間を通したジュニアライフセービング教室を企画する。（通年支援型のみ）

【申請方法】

電子メールにて申請（E-mail: education@jla.gr.jp）

- ・メールの件名: 「【クラブ名】 日本財団ジュニア助成」
- ・フォーム入力、提出書類締切: ~~2025年6月9日(月)23:59 受信分まで~~

→2025年6月27日(金)23:59 受信分まで



2025年度ジュニアライフセービング教室助成事業申請フォーム

<https://forms.gle/ZLagMgh6KpdqarKq6>

2025年度ジュニアライフセービング教室助成事業企画提案書

2025年度ジュニアライフセービング教室助成事業指導演

【選定方法】

企画提案書に基づき、JLA 教育本部委員による書類選考を実施する。

（評価の詳細は開示しない、助成決定通知は6月下旬7月中旬を予定）

1. 評価は、申請の内容を加味しながら、項目ごとにそれぞれ「絶対評価」にて行うものとし、5段階にて行う。評価者が各々評価した採点結果の合計を平均したものを評価点とする。
2. 評価基準 大変優れている=5/優れている=4/普通=3/やや劣っている=2/劣っている=1 点

【事業完了報告書について】

助成決定通知後、対象クラブには報告書の書式をメールにてご案内いたします。

報告書の内容につきましては、事前ヒアリングにて説明いたします。

電子メールにて申請 (E-mail: education@jla.gr.jp)

- ・メールの件名: 「【クラブ名】 日本財団ジュニア助成 報告書」
- ・提出書類
 - 2025 年度ジュニアライフセービング教室助成事業報告書
- ・事業終了後 14 日以内 に提出
- ・最終締切
 - ・ Water Safety 教育支援型 : 2025 年 10 月 14 日 (火) 23:59 受信分まで
 - ・ 通年支援型 : 2026 年 1 月 13 日 (火) 23:59 受信分まで

【その他】

申請等に関わる個人情報は、本事業における連絡業務に使用し、その他の目的では一切使用しません。

【お問い合わせ先】

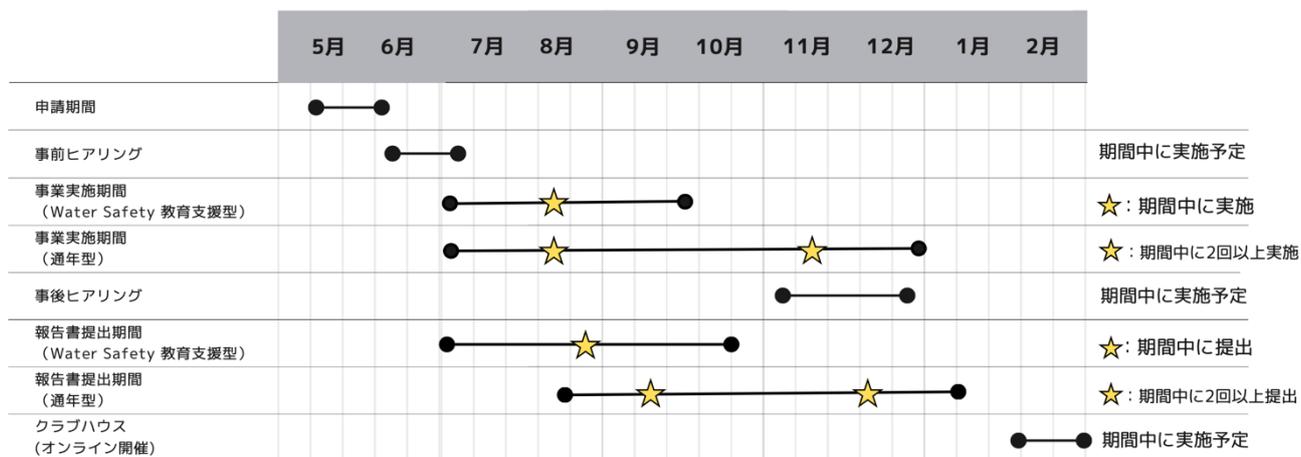
日本ライフセービング 協会 事務局

〒105-0022 東京都港区浜松町海岸 2 丁目 1-16 鈴与浜松町ビル 7 階

TEL:03-6381-7597(電話対応時間 12:00~18:00)

E-mail:education@jla.gr.jp

【スケジュール】



【添付書類】

別紙 1 : ①2025 年度ジュニアライフセービング教室助成事業企画提案書

別紙 2 : ②2025 年度ジュニアライフセービング教室 指導案

2025 年度ジュニアライフセービング教室助成事業申請フォーム



<https://forms.gle/ZLagMgh6KpdqarKq6>